

脱温暖化推進員フォーラム 2013（広島県）報告書

「(財) 広島県環境保健協会脱温暖化センターひろしま」の依頼により「広島県地球温暖化防止活動推進員ステップアップ研修脱温暖化推進員フォーラム 2013」においてUNCCCAの活動紹介をおこなうとともに、活動推進員研修会に参加した。

◆開催日：2013年2月28日（木） 10：30～16：00

◆場所：広島市西区民文化センター（3階大会議室）

◆参加者：亀田修、松井民男

◆プログラム（詳細は添付資料「脱温暖化推進員フォーラム 2013」参照）

10：30～ 開会挨拶（上田康二）、オリエンテーション（山口沙代子）

10：45～ 活動紹介 UNCCCA（亀田修）

11：20～ 〃 アスエコ（岡山県地球温暖化防止活動センター 秋山沙織）

11：45～ “エコドライブ・ステッカー”完成報告

12：00～ 昼食・休憩・交流タイム

13：15～わが町の活動報告『私たち、こんなことをやっています!!』

15：15～低炭素杯等参加報告・来年度事業展開について

16：00 閉会

◆ 感想・その他

- (1) 隣県の活動状況を紹介するという事で、宇部市（UNCCCA）と岡山県（アスエコ）がプレゼンテーションを行った。
- (2) UNCCCAのプレゼンは活動の全体が判り易く説明されて、好感をもたれたようであった。プレゼンでは①宇部市の太陽光パネル設置時の補助金について②エコ学習トランクについて質問をうけた。
- (3) アスエコ（公益法人岡山県環境保全事業団が母体）は、脱温暖化活動の基本的活動をきっちりと実行していることがよく分った。活動資金はいくらあるかという質問で”1億円”という答えがあり、会場がチョットどよめいた。
- (4) 昼食時間、参加者数人と①山口県内の地域協議会の連携について②脱温暖化活動への企業の参加について（広島県では企業は参加していないUNCCCAの活動は参考になった）③活動資金について等、意見交換をおこなった。
- (5) 午後は、県内各地域の脱温暖化活動の発表（4地域）がおこなわれた。いずれも、地域に根ざした（広島は島が多く、海岸線も長い）活動が地道に或いは活発に展開されており参考になった。
- (6) 印象に残った活動報告は『里山・里海から学ぶ気候変動』『楽しい出前講座をご紹介』であった。特に『楽しい——』（小学校4年生を対象にした出前講座）は、参加者を巻き込んで、ユーモア溢れる素晴らしい発表であった。（総理大臣賞受賞）
- (7) 今回のフォーラムを通して、『家エコ診断』の横展開が、これから脱温暖化活動の主流となるような印象であった。（国の補助金もこの活動に集中しよう）



写真1 UNCCA プレゼン



写真2 UNCCA プレゼン



写真3 UNCCA プレゼン



写真4 UNCCA プレゼン



写真5 会場風景



写真6 活動報告『楽しい出前講座ご紹介』

《撮影》 1,4,6 : UNCCA 2,3,5 : 脱温暖化センターひろしま

◆フォーラム参加者の感想

UNCCA プレゼンに対して、当日のアンケートで下記のような感想が寄せられた。(脱温暖化センターひろしま山口氏からのメール)

- ・今後の活動のヒントを得ることができ、大変参考になった
- ・多くの企業を巻き込んで活動している点が非常に参考になり、羨ましく思った
- ・年々工夫されている点が非常に素晴らしく、刺激を受けました
- ・案外知らなかった他県の取り組みを知ることができ、意義があった
- ・ぜひ見学に行きたいと感じた

以上

文中敬称は省略しました。(文責：松井民男)